

令和3年度校長だより最終号!

本年度の最終号です。98号が中途半端な終わり方となったので、最後はきちんと終っておきたいということで99号を作成しました。

さて、前号にも書いたのですが、子どもたちには「春休みは昨年度の自分を振り返ってほしい」と思っています。振り返りをする中で「反省」と「後悔」という言葉が出てきます。私が担任をしているとき、この2つの言葉を使ってよく話をしたように記憶しています。保護者の方はお分かりかと思いますが、似てるようでちがうこの言葉。ネットで検索すればいろいろ違いが出てきますが、後ろを振り返る、という点では同じです。その後の行動、気持ちの持ち方が違う、私は子どもたちに次のように話をしま

「反省」 「後悔」

した。「反省」は自己のこれまでを振り返り、そこから前を向き、これからどうするかを考える状態のこと。視点は未来です。それに対して「後悔」は、これまでを振り返るのは同じですが、過ぎ去った過去をどうにかしたい、過去を変えたいという感情論で、視点は過去です。ここが大きく違うのかなと思います。これからを見据えるのか、後ろを向いたままでいるのか、「反省」と「後悔」ということを踏まえて、お家で子どもたちに話していただければありがたいです。言葉遊びをするわけではありませんが、言葉を大切にしながら子育て、教育をしていくことは大切であると考えています。学校、家庭の連携・協力、よろしくお願いします。

さて、令和3年度も今日で終わります。コロナ禍での制限ある学校生活では、子どもたちにも保護者の皆さんにも大変ご苦勞をおかけしました。申し訳ありませんでした。特に、保護者の皆様には学校の意をくんでいただき、ご協力していただけたこと、大変感謝しています。ありがとうございました。また、考えてもいなかったことですが、断水に係る給水作業による休校など、今まで経験したことがない事態に向き合うこととなりました。本当にいろいろなことがあったなど改めて感じますが、令和4年度は、様々な制限が解除され、子どもたちが伸び伸びと学校生活を送れるよう、祈りたいと思います。コロナ感染症がどういうことになっていくのか想像できませんが、その場その場で最善の手立てを講じ、学校教育を進めていきたいと考えています。次年度も本年度同様、本校教育へのご理解とご支援をお願いして、校長だより最終号とします。